

明治大学と鳥取県が連携し、地域や社会に役立ちたい女性に学びの場を提供する「とっとりグランマ倶楽部」が7日、鳥取市で開講する。同大が文部科学省の委託事業として社会人の学び直しをテーマに全国5地域で実施する講座の一つで、対象を女性に絞ったのは鳥取の講座のみ。女性の視点を生かして企画から携わっている明治大学エクステンショングループの高山幸子さん(53)に取り組みの意義と期待を聞いた。

(聞き手は東京支社・坂彩子)

明治大学と鳥取県が連携講座

# とっとりグランマ倶楽部

## あす、鳥取市で開講

### ■ 企画担当者

## 高山幸子さんに聞く

— 講座の趣旨は。

「『グランマ』は『おばあちゃん』と訳されるが、『すてき』『気品ある』という意味があり、すでに輝く女性を意味する。子育て支援や高齢者支援、地域活性化策などを学び、それぞれの強み『自分ブランド』を見つけてもらうことを目指す」

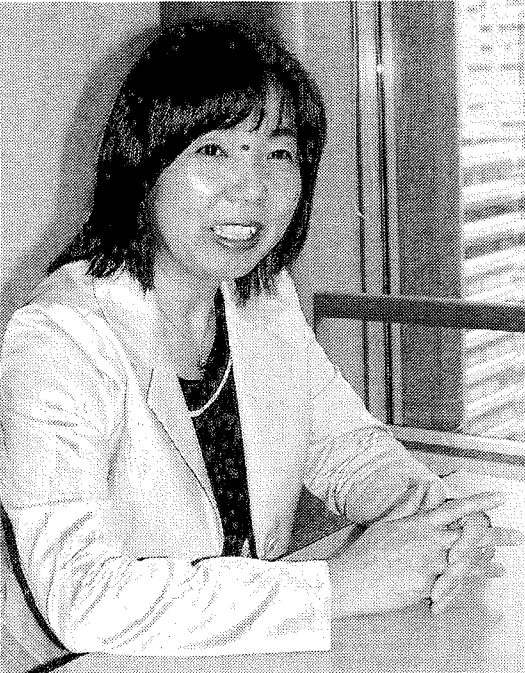
「明治大学が開講している社会人向け講座には、年間二万人が集まるほど学びたい人は多い。今回は、大学が地域に出向くことで学びたいけど学べない人、あきらめざるを得ない人に学ぶ機会を提供し

たい」

— 女性の「学び」に対するニーズをどう見る。

「今回、受講希望者から『今まで自分の時間を持てなかつたが、これからは地域に役に立つことをしたい』という手紙をいただいた。現実的に女性には結婚、子育て、介護などで学ぶ時間を持ちにくいので、学びたい気持ちはあると思う。実際、四十代から六十代の方を中心に、予定より多い三十九人に応募いただいた。鳥取は女性の就業率が高く、子育て支援や高齢者支援を学びたいという要望も高い

たい」



「地域の世話をする元気な女性が増えれば、ゆくゆくは予防介護にもつながる」と語る高山さん=東京都千代区の明治大学

## 女性の輝きが地域を元気に

## 「学びたい」を応援

と思う」

— 期待することは。

「昨年、長野県飯田市や群馬県つま恋村で実施したところ、NPO法人を立ち上げる人が生まれるなど予想以上の広がりがあった。草の根運動なので、地道な広がりになると思うが、個人でも団体でも何でもよい。元気な女性が増えれば、地域にも元気が出ると期待している」

— 講座は一年で終わる。一過性のものにならないための方策は。

「県には講座を受けた女性が活躍できる受け皿をつくってほしい。今回、鳥取大学の先生や学生に協力していただくが、鳥取大学に今後継続していただくようになれば明治大学からも講師派遣などで応援したい。『グランマ倶楽部』という名称が引き継がれるようになればうれしい」

◇全24回の連続講座の申し込みは締め切ったが、オープン講座は受け付け中。俳優の原田大二郎さんによる朗読講座(7月25、26日)や、吉田悦志明治大学副学長による鳥取の歴史、文化を学ぶ講座(6月7日)など5講座がある。会場は鳥取市扇町の県民ふれあい会館。聴講無料。